

3、4号機 当直長引継日誌

様式-1

福島第一原子力発電所 3・4号機

当直長引継日誌 (1/3)

当直長引継日誌

平成 23年 3月 11日 金曜日 8時 30分 2直 E班				[確認] 次直 当直長	[確認] 原子炉主 任技術者
出勤	9名(直員) 一名(研修指導員) 1名(研修生)	適用する 組織表No.	休務 代務	[作成・承認] 当直長	
		172	-	なし	
3号機	発電機出力	792MWe	原子炉の状態	(運転)・起動・高温停止・冷温停止・燃料交換	
4号機	発電機出力	0MWe	原子炉の状態	運転・起動・高温停止・冷温停止 (燃料交換)	
記 事					
3号機					
1. 運転状況					
(1) 原子炉定格熱出力一定運転中					
(2) M. COND B/W 04:01~04:53					
2. 保安規定の遵守状況					
異常なし					
3. 定例試験					
なし					
4. 作業依頼・不適合					
なし					
5. 廃棄物処理設備の状況					
特記事項なし					

様式-1

福島第一原子力発電所 3・4号機

平成23年 3月 11日 金曜日(2直) 当直長引継日誌(2/3)

4号機
1. 運転状況
(1) 定検停止中 RHR(B)系 非常時熱負荷モード運転中
2. 保安規定の遵守状況
異常なし
3. 定例試験
なし
4. 作業依頼・不適合
なし
5. 廃棄物処理設備の状況
特記事項なし
6. その他(共通)
なし

様式-1

福島第一原子力発電所 3・4号機

主要測定項目

平成23年 3月 11日 金曜日(2直) 当直長引継日誌(3/3)

測定項目	測定頻度	3号機	4号機	備考
1 最小限界出力比割合 (CMFCP)	1回/直	0.88	-	
2 最大線出力密度比 (CMFLPD)	1回/直	0.93	-	
3 原子炉最低水位	1回/直	1156mm	-	4号機 全燃料取出中
4 使用済燃料プール最高水温	1回/直	25℃	27℃	
5 使用済燃料プール水位状態	1回/直	オーバーフロー 水位付近	オーバーフロー 水位付近	
6 原子炉冷却材温度最大変化率	起動時及び 停止時	-℃/hr	-℃/hr	
7 原子炉压力容器最低温度	原子炉 压力容器の 耐圧試験時	-℃	-℃	
8 共用プール設備 プール水温	1回/直	34℃		
9 共用プール設備 プール水位状態	1回/直	オーバーフロー 水位付近		

注：測定項目8,9については、3・4号機のみ対象(3・4号の様式) (記録用紙の単位変更は可能とする。)

様式-1

福島第一原子力発電所 3・4号機

当直長引継日誌 (1/3)

当直長引継日誌

平成 23年 3月 11日 金曜日 21時 00分 1直 A班				[確認] 次直 当直長	[確認] 原子炉主 任技術者
8名(直員) 一名(研修指導員) 1名(研修生)	適用する 組織表No.	休 務		応 援	
	172	代 務		別紙参照	
3号機	発電機出力	OMWe	原子炉の状態	運転・起動・ <u>高温停止</u> ・冷温停止・燃料交換	
4号機	発電機出力	OMWe	原子炉の状態	運転・起動・高温停止・冷温停止 <u>燃料交換</u>	
記 事					
3号機					
1. 運転状況					
(1) 原子炉停止中					
(2) 警報「地震大トリップ」発生 14:47					
(3) 原子炉自動スクラム 14:47					
(4) 主タービン手動トリップ 14:47					
(5) M COND Vacブレーク 14:51~15:15					
(6) 原子炉未臨界 14:54					
(7) 原子炉モードスイッチ「運転」→「停止」 15:08					
(8) 原子炉の状態「運転」→「高温停止」 15:08					
(9) 所内電源喪失/原災法10条通報(緊急対策室より) 15:38/15:42					
(10) RCIC「起動」 16:03					
(11) 原災法15条通報(緊急対策室)より 16:36					
2. 保安規定の遵守状況					
異常あり、下記の条文が該当					
(1) 第17条(地震・火災等発生時の対応)					
(2) 第76条(異常発生時の基本的な対応)					
(3) 第77条(異常時の措置)					
(4) 第113条(通報)					
(5) 第121条(報告)					

様式-1

福島第一原子力発電所 3・4号機

平成23年 3月 11日 金曜日(1直) 当直長引継日誌(2/3)

4号機	
1. 運転状況	
(1) 定検停止中	
(2) 所内電源喪失/原災法10条通報(緊急対策室より)	15:38/15:42
2. 保安規定の遵守状況	
異常あり、下記の条文が該当	
(1) 第17条(地震・火災等発生時の対応)	
(2) 第113条(通報)	
(3) 第121条(報告)	
3. 定例試験	
なし	
4. 作業依頼・不適合	
なし	
5. 廃棄物処理設備の状況	
特記事項なし	
6. その他(共通)	
なし	

赤文字は、未確定
作成途中で停電となっ
ています。

様式-1

福島第一原子力発電所 3・4号機

主要測定項目

平成23年 3月 11日 金曜日(1直) 当直長引継日誌(3/3)

測定項目	測定頻度	3号機	4号機	備考
1 最小限界出力比割合 (CMFCP)	1回/直	0.88	-	
2 最大線出力密度比 (CMFLPD)	1回/直	0.93	-	
3 原子炉最低水位	1回/直	1156mm	-	4号機 全燃料取出中
4 使用済燃料プール最高水温	1回/直	25℃	27℃	
5 使用済燃料プール水位状態	1回/直	オーバーフロー 水位付近	オーバーフロー 水位付近	
6 原子炉冷却材温度最大変化率	起動時及び 停止時	-℃/hr	-℃/hr	
7 原子炉压力容器最低温度	原子炉 压力容器 耐圧試	赤文字は、未確定		
8 共用プール設備プール水温	1回/直	35℃		
9 共用プール設備プール水位状態	1回/直	オーバーフロー 水位付近		

注：測定項目8,9については、3・4号機のみ対象(3・4号の様式) (記録用紙の単位変更は可能とする。)

3号機 当直員引継日誌

様式-2

福島第一原子力発電所 3号機

当直員引継日誌

当直員引継日誌(1/3)

平成23年3月11日 金曜日		2直 E班		[承認] 当直長
引継者(作成者)名	[REDACTED]	(E班)		
引受者名	[REDACTED]	(A班)		
運転状況	原子炉の状態	運 転 ・ 起 動 ・ 高 温 停 止 ・ 冷 温 停 止 ・ 燃 料 交 換		
	原子炉熱出力 2378 MWt	C/D差圧 200 KPa	PLR-A PLR-B	
	発電機出力 793.2 MWe	HFF差圧 92 KPa	速度 88.3 %	88.3 %
	炉心流量 31170 T/H	炉水電導度 0.06 μs/cm	頂部 28~44 μm	24~36 μm
	復水器真空 4.76 KPa・abs	RCW温度 18.3 °C	X 43 μm	54 μm
	D/W・HVHTレ ー L/min	TCW温度 16.9 °C	Y 30 μm	59 μm
	D/W圧力 5.31 KPa	循環水温度 7.0 °C		
	S/Cレベル -0.1 cm	CSTレベル 66.1 %	(採取時刻: 7時00分)	
LCOに係わるインターロック 除外の有無	なし			
定例試験・定例切替の実施状況	実施時間	内 容	結 果	状 況
		<定例試験、定例切替操作>		
		定例試験、定例切替操作なし	合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止
			合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止
			合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止
			合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止
			合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止
			合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止
			合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止
			合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止
			合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止
			合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止
			合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止
			合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止
	備 考	なし		

様式-2

福島第一原子力発電所 3号機

平成23年3月11日 金曜日(2直)

当直員引継日誌(3/3)

内 容	分類
1. 傾向監視中	
・T/D RFPメカリーク量 (A) 1d/10s (B)1d/15s	様
・HPCP(A)本体反CP側メカリーク 1d/15s HPCP(B)(C)本体反CP側メカリーク にじみ	様
・C/D再循環ポンプメカリーク にじみ	様
・IBP(A)メカリーク状況 CP側:1d/3s 反CP側:1d/5s (運転中)	様
・IBP(B)メカリーク状況 CP側:にじみ 反CP側:1d/15s (停止中)	様
・パウザーフィルタポンプグランドリーク 1d/17s (パウザーレベル 550mm 補助油ポンプ運転中)	様
・調整用消火ポンプ反カップ側 排油用プラグ 油にじみなし	様
・D/G3B機関本体カバー 拭き取り未実施 (受け皿 滴下なし確認)	様
・固定子冷却水ポンプ(A) メカリーク にじみ	様
・D/G3B 清水プライミングポンプ グランド受皿 排水良好 グランドリーク 1d/7s	様
・復水回収タンク LCV-52-20グランドにじみ 拭き取り実施	様
・R/B HCU北側 FP配管リーク 滴下なし	様
・HCU 06-35 :7.4MPa	様
2. PLR(B)第2段シールキャビティー圧力 3.51MPa (7:00)	他
プロコンCRTで確認出来た最低圧力 3.50MPa 最高圧力 3.51MPa 変動幅 0.01MPa	
3. 共用M/C(A)の受電切替前の受電確認は下記の通りです。	他
・共用ボイラーMCC(C)受電は、現在MCC(A)側からの受電となっています。	
・共用ボイラー空調動力制御盤は、現在B系使用側に選択されています。	
・直流電源装置については、共用ボイラー建屋にはなく、1.2u開閉所がありました。名称はDC125V充電器盤となっています。 こちらは、現在開閉所MCC側からの受電となっています。	
4. CUW F/D差圧	様
F/D (A/B) 14/14 → 14/15KPa	
分類の凡例 M : MRF発行 不 : 不適合報告 定 : 定例試験・切替 操 : 運転操作 P : PTW RW : R/W関係 様 : 様子見 他 : その他	

様式-2

福島第一原子力発電所 3号機

当直員引継日誌

当直員引継日誌(1/3)

平成23年3月11日 金曜日		1直 A班		[承認] 当直長		
引継者(作成者)名		(A班)				
引受者名		(E班)				
原子炉の状態		運 転 ・ 起 動 ・ 高 温 停 止 ・ 冷 温 停 止 ・ 燃 料 交 換				
運 転 状 況	原子炉熱出力	2378 MWt	C/D差圧	200 KPa	PLR-A	PLR-B
	発電機出力	793.2 MWe	HFF差圧	92 KPa	速度	88.3 % 88.3 %
	炉心流量	31170 T/H	炉水電導度	0.06 μs/cm	頂部	28~44 μm 24~36 μm
	復水器真空	4.76 KPa·abs	RCW温度	18.3 °C	X	43 μm 54 μm
	D/W・HVHFレ	— L/min	TCW温度	16.9 °C	Y	30 μm 59 μm
	D/W圧力	5.31 KPa	循環水温度	7.0 °C		
	S/CLレベル	-0.1 cm	CSTレベル	66.1 %		(採取時刻:20時00分)
LCOIに係わるインターロック 除外の有無		なし				
定 例 試 験 ・ 定 例 切 替 の 実 施 状 況	実施時間	内 容		結 果	状 況	
		<定例試験、定例切替操作>				
		スラスト摩耗検出装置試験		合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止	
		タービンマスタートリップソレノイド弁試験		合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止	
		非常用密封油ポンプ自動起動試験		合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止	
		密封油差圧警報試験		合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止	
		RFP-T油ポンプ自動起動試験		合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止	
		自動オシロ動作試験		合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止	
		OLR受信装置、抑制表示灯試験		合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止	
				合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止	
				合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止	
				合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止	
				合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止	
				合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止	
				合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止	
			合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止		
			合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止		
			合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止		
			合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止		
			合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止		
備 考	なし					

平成23年3月11日 金曜日 (1直)

当直員引継日誌(2/3)

時刻	内容	分類
	<定例業務>	
8:55~8:56	中操ANNテスト	定
	RW中操ANNテスト(含25-17, 25-160)	定
10:53~11:11	TCW Hx(A)(C) 逆洗	定
11:20~11:42	RCW Hx(A)(C) 逆洗	定
9:22~9:34	発電機 水素補給(1本) 0.407 → 0.413MPa	定
	復水器逆洗	定
	一鉄注入	定
	<原子炉熱出力調整>	
	原子炉熱出力調整 PLRA/B 88.3 → 88. % (下げ)	
9:23/12:02	開閉所COMP(A/B) 電源「OFF」 / 「ON」 レシーバー圧力 1.45/1.45 MPa	P
9:28/11:56	開閉所MCC 「停止」 / 「受電」	P
9:40/11:54	開閉所MCC受電しゃ断器 P/C 3SB-5B しゃ断器「DC切&R. O」 / 「R. I&DC入」	P
9:10~	火気作業 3-1019 T/B大物搬入口	P
9:10~	火気作業 3-1020 R/B二重扉	P
9:37~10:00	CRDサククションフィルター清掃	P
10:02~10:17	CRDサククションフィルター水張り&L/C (FGフランジ部にじみあったので増し締めして良好となった)	P
10:17~10:27	CRDサククションフィルターインサービス 差圧 3kPa	操
10:03~10:46	給水制御装置C系 FTV回路内 AOC基板 交換作業	P
10:46	ANN「給水流量制御装置軽故障」クリア (裏盤ANNリセット)	他
10:14~10:37	給復水金属採取フィルター交換	P
10:36~10:47	OGサンプリング	P
	<共用プールP/C(A)受電切替作業>	
11:23	共用ボイラーMCC(C) 受電切替 MCC(A) → (B)	操
11:39	共用ボイラー(C) 起動・停止モードSW 「切」操作 (電源停止後、切実施しないと起動出来ない)	操
13:51	共用ボイラーヘッダー制御 A → B	操
14:22/	共用ボイラー(A) 空気抜き弁 V-7108A 「全閉」 / 「全開」 (電源切替時のショックを考慮)	操
	共用ボイラーMCC(A) 「停止」 / 「受電」	操
12:20	D/W機器ドレンサンプポンプ(A) 手動起動 (サンプオベレコ動作確認)	操
13:31	DSポンプ 電源「ON」 (DSタンクライニング修理終了)	P
14:00	D/G 3A SWポンプ(A) 待機不全回路 「リフト復旧」	P
14:01	D/G 3A SWポンプ(A) 電源「ON」	P
14:03~	D/G 3A SWポンプ(A) T/R (T/R良好 A:自動 B:待機)	P
14:05~14:18	T/B HVCW 薬注タンク クリレックス 1Kg 投入 (放化G 指示)	P
	T/B HVCW 薬注リサイクル	操
分類の凡例	M: MRF発行 不: 不適合報告 定: 定例試験・切替 操: 運転操作 P: PTW RW: R/W関係 様: 様子見 他: その他	

当直引継日誌 別紙

--

平成23年3月11日(金曜日)

1/

	内 容		
	14:47	地震発生 3号機加速度 水平:507.0gal 上下:231gal(震度6弱相当)	
	14:47	Rxスクラム *成功	
	14:47	主タービン「手動トリップ」 O-3「自動開放」 LS-3「手動開放」	
		* 所内切替失敗(原因不明)	
		* D/G3A、D/G3B起動成功	
		給復水全停、SW全停	
	14:51/15:15	M COND Vacブレーク	
	14:54	未臨界確認	
	14:56	L-8	
運 転 操 作 ・ 事 象 発 生 時 刻	15:02	SWポンプB「起動」	
	15:02	S/P 水温 32℃	
	15:06/15:25	RCICクイックスタート/L-8トリップ	
	15:08	原子炉モードSW「停止」	
	15:15	P/C3SA受電(P/C3Dより受電)	
	15:24/15:25	RPS M-G(A)「起動」/「受電」	
	15:28/15:29	RPS M-G(A)「起動」/「受電」	
	15:26	STr3A下部 3カ所確認 *漏洩箇所特定できず	
	15:31	T/Bサンプ「P/L」	
	15:33	R/Bサンプ「P/L」	
	15:33	ANN「復水器エリア漏洩」ANN発生 *津波の影響	
	15:36	SWポンプB「トリップ」	

平成23年3月11日(金曜日)

2/

	内 容
15:38	SBO
15:42	10条通報(緊急対策室)より
16:03	RCIC「起動」 Rx水位:-500mm S/CLレベル:150mm(ミニフロー弁開により上昇) RCICミニフロー弁「閉」
16:13	HPCI、RCIC 水源切替防止リフト
16:16	RCIC注入開始 Rx水位:-900mm
16:04	天井クレーン 3名救助(5F照明なし)
16:12	PNL9-3 ANN「D/W圧力高」発生
16:24	主タービン EOP「停止」(ESOP以外)
16:36	15条通報(緊急対策室)より
16:45	スタック 3cps Rx水位:-450mm 炉圧:7.3MPa RCIC:19L/s
16:55	Rx水位:-150mm 炉圧:7.25MPa
17:06	発電機 防災装置開始
17:12	プロコンモニタ 電源「OFF」
17:13	D/W圧 130kPaabs S/CLレベル:200cm
17:41	地震発生
17:48	ESOP「停止」
17:30	プロコン室非常照明「OFF」(蛍光灯を抜いた)
18:45	中操-燃交TEL⑧、ジャック⑦「OFF」
19:08~19:11	プロコン 電源「OFF」
19:16	プラディス電源「OFF」
20:30	第2中操 EHC、T/D盤 電源「OFF」
21:11	CRD盤 9-27、28 電源「OFF」
21:27	中操仮設照明装置、中操DC照明「切」
23:07~23:20	バイタル電源「OFF」(ケーブルボルト室)

運
転
操
作
・
事
象
発
生
時
刻

平成23年3月12日(土曜日)

1/

	内 容	
運 転 操 作 ・ 事 象 発 生 時 刻	2:32	中操時計電源「停止」
	2:45	中操通信用 電源「OFF」
	3:27	D/D FPポンプ「起動確認」(起動せず 原因不明)
	4:03	HPCIテスト弁 MO-23-21 「開」阻止リフト
	8:11	AM設備 MO-111 「全開」
	8:52	NSS側 ANN表示灯「全消灯」
	9:27	スタックモニタ D. S確認 電源なし
	10:18	CST 補給LCVバイパス弁「開」
	10:18	1号機 D/Wベント
	11:13	RCIC MO-18、19、41 NFB「OFF」
	11:13	D/D FPポンプ「現場手動起動」(確認) / 「停止」(中操で停止したが自動起動)
	11:36	D/D FPポンプ「非常停止」(確認のため起動したが停止しないため非常停止PBにて停止)
	11:36	RCIC トリップ 炉水位: +200mm(W)
	12:06	D/D FPポンプ「手動起動」
	12:35	原子炉水位 L-2 炉水位: -1220mm(W) HPCI自動起動
	12:40	FP 2-3号タイ弁(301、22)「閉」 (AM盤流量ハンチング有り)
	12:55	RCIC Vac ポンプ トリップ (冷却水弁 MO-23-132閉)
	14:00	D/D FPポンプ燃料補給(受け入れ弁開 ライン分のみ補給) 172↑195L 吸込圧:0.02MPa D/D FPポンプ 吸込圧:0.02MPa 吐出圧:0.35MPa
	16:35	水位上昇操作 +400mm(W) 炉圧:2.86MPa
	17:35~17:50	No.2軽油タンク D/D FPポンプ移送ライン構成(積算計、ポンプ バイパス)
	20:00	D/D FPポンプ燃料タンク 130L

平成23年3月12日(土曜日)～

1/

		内 容	
	20:27	AM盤 D/W圧、S/C圧、S/C水位計 電源なし	
	20:36	原子炉水位計電源なし 最終データ 広帯域A系:1350mm、燃料域A系:+400mm	
	20:57	給水制御装置A 電源「OFF」 PLR制御装置A 電源「OFF」 ECCS記録計 電源「OFF」	
	21:30	現場PI指示:D/W圧 170kPa	
運 転 操 作 ・ 事 象 発 生 時 刻	3/13		
	1:45	D/D FPポンプ軽油補給 70↑110L	吸い込み圧:0MPa 吐出:0.42MPa
	2:42	HPCI停止	炉圧:0.58MPa
	2:45	SRV 開せず	炉圧:0.8MPa
	2:55	SRV 開せず	炉圧:1.3MPa
	3:05	D/D FPポンプ炉注入 MO-10-27B 15%開	7%で流れる音がしたみたい 吸込圧:0↑0.14MPa 吐出:0.4↑0.61MPa
	3:35	HPCI FIC表示灯 消灯	
	3:37	RCIC Vacポンプ 起動せず	
	3:39	HPCI AOP 停止	
	3:51	Rx水位計(W) 計器電源ON	-3600mm
		Rx水位計(燃料域) 計器電源ON	-1600mm 炉圧:5MPa TAFの可能性
	4:04	Rx水位計(燃料域) -1600mm	炉圧:5.6MPa
	4:06	HPCI復水ポンプ 電源OFF	
	4:52	D/Wベント弁 AO-205 仮設コンセントON	弁場弁開度:全閉 ポンベ圧:0
	5:08	S/Cスプレイ 開始 MO-10-25B 閉	
	5:08	RCIC手動起動/止め弁 閉	RCIC止め弁リセット動かず
	5:10	原災法 15条 給水全喪失	
	5:16	DTrポンプ メガー終了	水付けなし 使用可確認

平成23年3月13日(日曜日)

1/

	内 容
6:59	D/Wスプレイ指示(緊对本部)
7:39	D/Wスプレイ開始(RHR B系より)
7:43	トーラススプレイ停止 MO-10-38B 閉
7:43~	LPCI注入ライン構成開始 RHR B系より
8:35	PCVベント弁 MO-271 15%手動開
8:41	S/Cベント ライン構成終了
	AO-205開確認はトーラスルームでこわくていけない
8:40~9:10	RHR 注入弁 MO-25B 30%開
9:05	水位不明 Rx圧:0.46MPa D/W圧:630kPaabs S/C圧:590kPaabs
	水位計 広帯域A O.S
	水位計 燃料域A +800mmハンチング 燃料域B +1800mm
9:50	SRV(A)「手動開」ランプ表示はR・G両点
9:57	ホウ酸注入(消防車より FPライン経由)確認
11:04~11:06	満水操作開始 HPCI・RCIC蒸気隔離弁「閉」(MSIV、CUWは閉中)
12:30	S/Cベント弁 AO-205 操作用ポンベ交換
	一次圧:11.6MPa/二次圧:0.64MPa
13:10	原子炉海水注入開始(消防車より 逆洗弁ピット~FPライン経由)
	水位計 燃料域A -1700mm 燃料域B -2200mm
14:30	2-3号 FPタイ弁「閉」(2号側 V-201)
14:36	純水移送ポンプ仮設電源布設終了
22:15	D/D FPポンプ 停止(燃料なし)

運
転
操
作
事
象
発
生
時
刻

平成23年3月14日(月曜日)

1/

	内 容
1:15	原子炉海水注入一次停止(消防車より 逆洗弁ピット~FPライン経由) ポンプ取替&逆洗弁ピット海水溜め
3:40	S/Cベント開始 強制励磁用コンセントON D/W圧:340kPa S/C圧:325kPa
3:50	SRV操作用仮設バッテリー電圧確認 11~12V
4:08	計測用電源「ON」 4号P/Cより CAMS 電源復帰 D/W: 1.40×10^2 Sv/h S/C: 4.28×10^0 Sv/h 4号定検監視盤復旧 燃料プール温度:84℃ スキマレベル:D. S
3:20	原子炉海水注入開始(消防車より 逆洗弁ピット~FPライン経由)
6:10	S/Cベント AO-206 強制開ジャンパー

運
転
操
作
・
事
象
発
生
時
刻

4号機 当直員引継日誌

様式-2

福島第一原子力発電所 4号機

当直員引継日誌

当直員引継日誌 (1/2)

平成23年3月11日 金曜日		2直 E班		[承認] 当直長
引継者(作成者)名		(E班)		
引受者名		(A班)		
運転状況	原子炉の状態	運 転 ・ 起 動 ・ 高 温 停 止 ・ 冷 温 停 止 ・ 燃料交換		
	RHR(B)系 [非常時熱負荷モード] 燃料プールゲート (開閉)	LR-2-3-103(水張り用)	1220	cm
	RHRポンプ (A B C D) RHRSPポンプ (A B C D)	炉水温度 - °C		
	FPCポンプ (A B) ※全停 Hx (A B)	プール水温度 26.8 °C		
	RCWポンプ (A B C) ※全停 Hx (A B C)	RCW圧力 - MPa	RCW温度 - °C	
	TCWポンプ (A B C) Hx (A B C)	TCW圧力 0.68 MPa	TCW温度 8.0 °C	
	SWポンプ (A B C)	SW圧力 0.48 MPa	SW温度 7.0 (3u) °C	
	循環水ポンプ (A B C)	CSTレベル 76.4 %	トラスレベル D・S cm (採取時刻:7時00分)	
LCOに係わるインターロック除外の有無	・SRNM中性子束高インターロック除外中 ・燃料取替機インターロック除外中 ・APRM高インターロック除外中			
定例試験・定例切替の実施状況	実施時間	内 容	結 果	状 況
		< 定例試験 >		
		なし	合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止
			合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止
			合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止
			合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止
			合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止
			合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止
			合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止
			合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止
		< 定例切替 >		
		なし	合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止
			合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止
			合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止
備考	なし			

様式-2

福島第一原子力発電所 4号機

平成23年3月11日 金曜日 (2直) 当直員引継日誌 (2/2)

時刻	内 容		分類
	時刻	内容	
	<定例操作>		
22:15~22:48	TCW Hx (B) B/W		操
22:17~22:45	RCW Hx (C) B/W		操
21:00	中操盤(NSS,BOP) 警報テスト		他
6:50	RW中操盤(25-17B) 警報テスト		他
	RW中操 FSTR盤(41-01) 警報テスト		他
23:46	FPC F/Dサンプリング流量調整実施、(入口)35×10→80×10mL/min		操
	【T/B RT作業】T2020T0023		
0:18~0:42	線源移動 (R/W1階ホッパーA室 → T/B地下1階復水器西側エリア)		P
1:02~4:12	RT作業 (T/B地下1階復水器西側)		P
4:21~4:28	線源移動 (T/B地下1階復水器西側エリア → R/W1階ホッパーA室)		P
	【FPCスキマサージタンクブロー操作】		
3:35/3:52	FPC F/D(B) 入口弁(AO-10-4-11B) 「全開」/「全閉」		操
3:36/3:51	FPC F/D(B) FIC「手動 全開」/「自動 全閉」		操
3:41~3:48	FPC F/D(B)ブロー弁(V-19-4-27B) 調整「開」【FPCスキマブロー】 FPCスキマ 4.16m→2.65m (WNT(B) 49→60)		操
	【FPCスキマサージタンクブロー操作】		
8:04/8:12	FPC F/D(B) 入口弁(AO-10-4-11B) 「全開」/「全閉」		操
8:04/8:12	FPC F/D(B) FIC「手動 全開」/「自動 全閉」		操
8:07~8:11	FPC F/D(B)ブロー弁(V-19-4-27B) 調整「開」【FPCスキマブロー】 FPCスキマ 3.60m→2.70m (WNT(B) 60→66)		操
分類の凡例	M : MRF発行 不 : 不適合報告 定 : 定例試験・切替 操 : 運転操作 P : PTW RW : R/W関係 様 : 様子見 他 : その他		

場 状 況	内 容		分類
	時刻	内容	
場 状 況	1. パツカンエリア 床水の状況 ... 床面水溜まりなし (23:30)		様
	ライナードレン状況 FPC側 14.5m DSP側 2.8cm (23:00)		
	H/B室給水タンクLCVグラウンド1滴/5秒 5cmバケツ水 (23:20)		
申 送 り 事 項	2. FPCスキマブローを実施時、F/D(B)の入口弁(AO-19-4-11B)を全開にした際にB-自動弁異常・B-緊急停止のANNが発生しました。(休止の場合は、11B開で自動弁異常で緊急停止発生) ANNは発生したままです。対応願います。		他
	分類の凡例	M : MRF発行 不 : 不適合報告 定 : 定例試験・切替 操 : 運転操作 P : PTW RW : R/W関係 様 : 様子見 他 : その他	

様式-2

福島第一原子力発電所 4号機

当直員引継日誌

当直員引継日誌 (1/3)

平成23年3月11日 金曜日		1直 A班		[承認] 当直長	
引継者(作成者)名		(A班)			
引受者名		(E班)			
原子炉の状態 運 転 ・ 起 動 ・ 高 温 停 止 ・ 冷 温 停 止 ・ 燃 料 交 換					
運 転 状 況	RHR「非常時熱負荷モード」		燃料プールゲート (開 [○] 閉)	LR-2-3-103(水張り用) 1220 cm	
	RHRポンプ (A B C [○] D)		RHRSポンプ (A [○] B C [○] D)	炉水温度 - °C	
	FPCポンプ (A B) ※全停 Hx (A B)			プール水温度 26.9 °C	
	RCWポンプ (A [○] B C)		Hx (A B [○] C)	RCW圧力 MPa RCW温度 °C	
	TCWポンプ (A [○] B C)		Hx (A [○] B C)	TCW圧力 0.68 MPa TCW温度 8.4 °C	
	SWポンプ (A [○] B C)			SW圧力 0.49 MPa SW温度 7.2 (3u) °C	
	循環水ポンプ (A B C)		CSTレベル 77.2 %	トラスレベル D・S cm	
	(採取時刻:20時00分)				
LCOに係わるインターロック除外の有無		・SRNM中性子束高インターロック除外中 ・燃料取替機インターロック除外中 ・APRM高インターロック除外中			
定 例 試 験 ・ 定 例 切 替 の 実 施 状 況	実施時間	内 容		結 果	状 況
		< 定 例 試 験 >			
		なし		合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止
				合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止
				合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止
				合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止
				合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止
				合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止
				合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止
				合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止
	10:55~11:06	R/B,T/B,R/W各建屋サンプポンプ切替 (B→A)		合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止
	—	励磁機室空調機切替 ※1		合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止
		TCW熱交切替 (B)→(C) ※2		合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止
			合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止	
			合格・不合格	良好・要注意・継続中・中止	
備 考	※1 PTW中につき中止				
	※2 3/12予定分実施				

様式-2

福島第一原子力発電所 4号機

平成23年3月11日 金曜日 (1直)

当直員引継日誌 (2/3)

時刻	内容	分類
	<定例操作>	
10:38~11:10	TCW Hx (B) B/W	操
10:24~11:05	RCW Hx (C) B/W	操
	硫酸第一鉄注入	定
		定
8:30	中操盤(NSS,BOP) 警報テスト	他
	RW中操盤(25-17B) 警報テスト	他
	RW中操 FSTR盤(41-01) 警報テスト	他
9:20~9:27	TCW Hx(C)サンプリング	操
9:28/11:50	RCWサージタンクLCV前弁 開/閉	P
9:36~10:20	RCW系統 水張り	P
9:44/10:41	TCWサージタンクLCV前弁 開/閉	P
9:53/10:13	SAコンプレッサー(A) 電源ON/OFF	P
10:02~10:11	SAコンプレッサー(A) 無負荷T/R	P
13:56	SAコンプレッサー(A) 電源ON	P
14:01~14:24	SAコンプレッサー(A) T/R...中止(シリンダ部より異音あり)	P
14:10	3-4号SA連絡弁 閉	P
9:54/11:41	R/B空調モニタサンプルポンプ 停止/起動 (欠測) ※計測用電源取替PTW	P
9:56/11:38	R/B計測用分電盤負荷CKT-15・21 OFF / 仮設側CKT-4・9 ON	P
10:03	R/B計測用分電盤 電源OFF	P
10:16	RCWポンプ(B) 遮断器R・I&DC入	P
10:28	RCWポンプ(A) 遮断器R・I&DC入	P
10:49	RCWポンプ(B) 起動	P
10:49~10:59	RCWポンプ(B)吐出弁 微開→全開	P
10:57	ANNクリア「R/B冷却水ポンプ吐出圧力低」	他
11:50	RCWポンプ(A) 自動	操
10:20~10:46	ノイズチェック(耐震サポート他改造) ノイズチェック確認結果...異常なし 発信時刻:10時46分 発信者氏名: [REDACTED] 設備保全箇所管理員: [REDACTED]	P
10:49~11:02	ノイズチェック(24回定検に伴う準備) ノイズチェック確認結果...異常なし 発信時刻:11時12分 発信者氏名: [REDACTED] 設備保全箇所管理員: [REDACTED]	P
11:20	FPC Hx(A)出口弁 全開→10T開	操
11:22	FPC Hx(B)出口弁 9T開→全開	操
14:02	FPCポンプ(B) 電源ON	操
14:04	FPCポンプ(A) 電源ON	操
14:16	FPCポンプ(B) 起動 スキマレベル	操
14:26	FPC F/D(A) インサービス	操
	FPC F/D(A) インサービス 14:16	
分類の凡例	M : MRF発行 不 : 不適合報告 定 : 定例試験・切替 操 : 運転操作 P : PTW RW : R/W関係 様 : 様子見 他 : その他	

様式-2

福島第一原子力発電所 4号機

平成23年3月11日 金曜日 (1直)

当直員引継日誌 (3/3)

作成者	内容	分類																																				
[定検チーム(タービンGr)側]																																						
1.	パツカンエリア 床水の状況 ... 床面水溜まりなし	様																																				
2.	SAコンプレッサー(A)のT/R開始しましたが、シリンダー部から異音有りのため中止。3-4号SA連絡弁を開にし コンプレッサー(A)は再アイソレしました。	P																																				
[定検チーム(原子炉Gr)側]																																						
1.	H/B室給水タンクLCVグランド 1滴/5秒 バケツ水2cm処理未実施	様																																				
2.	FPC(B)ポンプ起動、F/D(A)採水しました。	他																																				
<table border="0"> <tr> <td>現</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>場</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>状</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>況</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>申</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>し</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>送</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>り</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>項</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>等</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			現			場			状			況			・			申			し			送			り			事			項			等		
現																																						
場																																						
状																																						
況																																						
・																																						
申																																						
し																																						
送																																						
り																																						
事																																						
項																																						
等																																						
<table border="0"> <tr> <td>分類の凡例</td> <td>M : MRF発行</td> <td>不 : 不適合報告</td> <td>定 : 定例試験・切替</td> <td>操 : 運転操作</td> </tr> <tr> <td></td> <td>P : PTW</td> <td>RW : R/W関係</td> <td>様 : 様子見</td> <td>他 : その他</td> </tr> </table>	分類の凡例	M : MRF発行	不 : 不適合報告	定 : 定例試験・切替	操 : 運転操作		P : PTW	RW : R/W関係	様 : 様子見	他 : その他																												
分類の凡例	M : MRF発行	不 : 不適合報告	定 : 定例試験・切替	操 : 運転操作																																		
	P : PTW	RW : R/W関係	様 : 様子見	他 : その他																																		

3号機 運転日誌

福島第一原子力発電所 3号機
運 転 日 誌 [2]
 保安規定9条, 120条関連記録

2011年3月11日

班 組	承 継		内 容 接 続		作 成		承認	
	当直班	当直前班	当直班	当直前班	班長	班員	班長	班員
原子炉主任技師室								
2直							1-1直	
1-2直							2直	

炉規則7条/保安規定120条対象記録	
炉規則7条、保安規定120条	原子炉の状態が運転及び起動において1時間ごと
保安規定21条	原子炉の状態が運転及び起動において24時間ごと1回

時刻	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
CR																					
16-51																					
22-51																					
28-51																					
30-51																					
34-51																					
10-47																					
14-47																					
18-47																					
22-47																					
26-47																					
30-47																					
34-47																					
38-47																					
42-47																					
06-43																					
10-43																					
14-43																					
18-43																					
22-43																					
26-43																					
30-43																					
34-43																					
38-43																					
42-43																					
46-43																					
08-39																					
10-39																					
14-39																					
18-39																					
22-39																					
26-39																					
30-39																					
34-39																					
38-39																					
42-39																					
46-39																					
02-35																					
06-35																					
10-35																					
14-35																					
18-35																					
22-35																					
26-35																					
30-35																					
34-35																					
38-35																					

OD-7 OPT. I CONTROL ROD NOTCH POSITIONS (PERIODIC PRINT)
 03-11-11 00:00 FUKUSHIMA -3
 5
 1400

51																					
47																					
45																					
39																					
35																					
31																					
27																					
23																					
19																					
15																					
11																					
07																					
03																					

02 06 10 14 18 22 26 30 34 38 42 46 50

本枠は炉規則第7条/保安規定第120条対象記録

福島第一原子力発電所 3号機

運転日誌別紙

2011年 3月 11日

確認	承認	内容確認	作成
原子炉主任技術者	当直長	当直副長	当直員
	2直		
	1-1直		
	1-2直		
	2直		

保安規定 炉規則第7条 保安規定第120条 記録項目	9,35,36,37,120		9,120						9,37	38	56	他Gr使用データ							
	炉心の温度		冷却材入口 温度	冷却材出口 温度	冷却材流量	冷却材圧力		再結合装置内の温度					発電機出力						
記録すべき 場合、種別	全燃料取り出し中で且つプール ゲート閉の場合以外運転		原子炉の状態が運転及び起動において1箇高ごと																
	12		13	14	15	16	17	18	19				20	21	22	23		24	25
項目	●再循環系ループ温度 (給2)		●給水 温度	●主蒸気 温度	●主蒸気 流量	●給水 流量	●給水 圧力	●主蒸気 圧力	●排ガス再結合器温度				原子炉低 圧側圧力 容器	●原子 炉圧力	●原子 炉水位	電 力 並	●復水 器真空	●高圧 第1級 圧力	
	A	B	°C	°C	t/h	L/h	MPa	MPa	入口	出口	入口	出口	°C	°C	MPa	mm	kWh × 10,000	MWh	kPa (abs)
時刻	9-4		9-6		9-5		9-6	9-7	9-34				9-21	9-5		9-31		9-7	
	TR-2-150		TR-51-1 No.9	TR-51-1 No.1	FR-6-96		PI-52-31	M-502	TRS-24-713A ① ②		TRS-24-713B ③ ④		VbR-23-1	LR/PR-6-97		WHT-43-107		PI-51-8B	PI-51-5
計器	C101 C102		D230	C100	D200 D201	C046	B012	L000 L002	L001 L003	VbR-23-1		LR/PR-6-97		WHT-43-107		PI-51-8B		PI-51-5	
	PID		C101 C102		D230	C100	D200 D201	C046	B012	L000 L002	L001 L003	-	C003	C004	-		T001	T004	
0																			
1																			
2																			
3																			
4																			
5																			
6																			
7																			
8																			
9																			
10																			
11																			
12																			
13																			
14																			
15																			
16																			
17																			
18														7.24	0				
19														7.22	+200				
20														7.20	-50				
21														7.17	+1500				
22														7.17	+900				
23														7.27	+850				
24														7.36	+150				
														7.39	+50				

補足事項
補1 原子炉圧力容器減え(水圧)検査等で原子炉を加压する場合に採取する。
補2 再循環系ループ温度が記録できない場合は、代替記録採取場所により記録する。詳細は運転日誌記載ガイドを確認すること。

記事
*1 原子炉圧力計器変更
#2-3-85A(7体)
*2 原子炉水位計器変更
#2-3-85A(7体)

※3 3月11日 補記訂正
訂正

福島第一原子力発電所 3号機 非常用機器状態確認チェックシート

2011年3月11日

	水部 当直長	内容確認 当直副長	作成 当直員
1直			
2直			

項	目	通常状態	2直	1直	項	目	通常状態	2直	1直	項	目	通常状態	2直	1直	記 事	
自動 送し弁系	AO-2 -71A	X	レ		炉心 スプレイ系 (A)	CSポンプA潤滑油ポンプ	SB	レ		残 留 熱 系 (B)	RHRポンプB潤滑油ポンプ	SB	レ		1. 主要操作が終了し、引継ぎまでの間に状態を確認する。 1直前は1.8時~引継ぎまで、2直前は6時~引継ぎまで 2. 通常状態と比較し異常なければ「レ」相違する場合は、次の記号で 記載する。 3. 記号 レ: 異常なし O: 開 X: 閉 W: 作業中 RUN: 運転中 MAN: 手動 P/L: 引き保持	
	-71B	X	レ			CSポンプA非常用潤滑油ポンプ	SB	レ			RHRポンプD潤滑油ポンプ	SB	レ			
	-71C	X	レ			MO-23-15	O	レ			RHRポンプB、D非常用潤滑油ポンプ	SB	レ			
	-71E	X	レ			-16	O	レ			RHRポンプB、D潤滑油ポンプB ₁	SB	レ			
	-71G	X	レ			-14	X	レ			RHRポンプB、D潤滑油ポンプB ₂	SB	レ			
	-71H	X	レ			-17	O	レ			RHRポンプB、D潤滑油冷却ファンB ₁	SB	レ			
残 留 熱 系 (A)	RHRポンプ A	SB	レ		高 注 水 系	-57	X	レ		炉 スプレイ系 (B)	RHRポンプB、D潤滑油冷却ファンB ₂	SB	レ			
	RHRポンプ C	SB	レ			-58	X	レ			ポンプ B	SB	レ			
	RHRSポンプ A	SB	レ			-21	X	レ			MO-14-7B	O	レ			
	RHRSポンプ C	SB	レ			-20	O	レ			-11B	O	レ			
	MO-10-15A	X	レ			-19	X	レ			-12B	X	レ			
	-15C	X	レ			-24	X	レ			-26B	X	レ			
	-65A	O	レ			-25	X	レ			-5B	O	レ			
	-66A	O	レ			-144	X	レ			CSポンプB潤滑油ポンプ	SB	レ			
	-12A	O	レ			タービン止め弁	X	レ			CSポンプB非常用潤滑油ポンプ	SB	レ			
	-27A	O	レ			タービン加減弁	X	レ			MO-13-15	O	レ			
	-25A	X	レ			潤滑油ポンプ	SB	レ			-16	O	レ			
	-31A	X	レ			真空ポンプ	SB	レ			-131	X	レ			
	-26A	X	レ			復水ポンプ	SB	レ			-18	O	レ			
	-38A	X	レ			流量制御器	AUTO	レ			-39	X	レ			
	-39A	X	レ		RHRポンプ B	SB	レ		-41	X	レ					
	-34A	X	レ		RHRポンプ D	SB	レ		-20	O	レ					
	-13A	O	レ		RHRSポンプ B	SB	レ		-21	X	レ					
	-19C	O	レ		RHRSポンプ D	SB	レ		-30	X	レ					
	-89A	X	レ		MO-10-15B	X	レ		-27	X	レ					
	-20	O	レ		-15D	X	レ		-132	X	レ					
RHRポンプA潤滑油ポンプ	SB	レ		-65B	O	レ		タービン止め弁	O	レ						
RHRポンプC潤滑油ポンプ	SB	レ		-66B	O	レ		タービン加減弁	O	レ						
RHRポンプA、C非常用潤滑油ポンプ	SB	レ		-12B	O	レ		復水ポンプ	SB	レ						
RHRSポンプA、C潤滑油ポンプA ₁	SB	レ		-27B	O	レ		真空ポンプ	SB	レ						
RHRSポンプA、C潤滑油ポンプA ₂	SB	レ		-25B	X	レ		流量制御器	AUTO	レ						
RHRSポンプA、C潤滑油冷却ファンA ₁	SB	レ		-31B	X	レ		ディーゼル 発電機3A	SB	レ						
RHRSポンプA、C潤滑油冷却ファンA ₂	SB	レ		-26B	X	レ		6.9kvしゃ断器3C3	O	レ						
ポンプ A	SB	レ		-38B	X	レ		ディーゼル 発電機3B	SB	レ						
MO-14-7A	O	レ		-39B	X	レ		6.9kvしゃ断器3D3	O	レ						
-11A	O	レ		-34B	X	レ										
-12A	X	レ		-13B	O	レ										
-26A	X	レ		-13D	O	レ										
-6A	O	レ		-89B	X	レ										

4号機 運転日誌

本枠は炉規則第7条/保安規定第120条対象記録

福島第一原子力発電所 4号機 運転日誌 [1]

2011年 3月 11日

項目	確認	異常	炉内状況		炉外状況		備考
			温度	圧力	流量	電圧	
炉内温度	OK						1.57A10
炉内圧力	OK						1.78A11
炉外温度	OK						1.23A12
炉外圧力	OK						1.23A13
炉内流量	OK						1.23A14
炉外流量	OK						1.23A15
炉内電圧	OK						1.23A16
炉外電圧	OK						1.23A17
炉内電流	OK						1.23A18
炉外電流	OK						1.23A19

項目	確認
1. 炉内温度	OK
2. 炉内圧力	OK
3. 炉外温度	OK
4. 炉外圧力	OK
5. 炉内流量	OK
6. 炉外流量	OK
7. 炉内電圧	OK
8. 炉外電圧	OK
9. 炉内電流	OK
10. 炉外電流	OK
11. 炉内電圧	OK
12. 炉外電圧	OK
13. 炉内電流	OK
14. 炉外電流	OK
15. 炉内電圧	OK
16. 炉外電圧	OK
17. 炉内電流	OK
18. 炉外電流	OK
19. 炉内電圧	OK
20. 炉外電圧	OK
21. 炉内電流	OK
22. 炉外電流	OK
23. 炉内電圧	OK
24. 炉外電圧	OK
25. 炉内電流	OK
26. 炉外電流	OK
27. 炉内電圧	OK
28. 炉外電圧	OK
29. 炉内電流	OK
30. 炉外電流	OK

確認	承認	内容確認	作成	備考
原子炉主任技師	当班長	当班副長	感直員	
2				異変なし
1-1				異常なし
1-2				異常なし
2				異常なし

測定時刻	9,10,120	9,13,40,40	9,13,45	9,13,48	28
項目	炉出力・炉心中性子束密度				
時刻	毎目1回				
測定	μS/cm	cm	°C	960 ₂	kW
計器	ORS-59-101/102	LI-16-132	TWS-16-353A/B	ORS-51-110A	原子炉出力計
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					

測定時刻	9,120	9,13,31		
項目	炉出力・炉心中性子束密度			
時刻	毎目1回			
測定	μS/cm	cm	°C	960 ₂
計器	ORS-59-101/102	LI-16-132	TWS-16-353A/B	ORS-51-110A
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

測定時刻	9,120				9,13,31			
	項目	炉出力・炉心中性子束密度				炉出力・炉心中性子束密度		
時刻	毎目1回				毎目1回			
測定	μS/cm	cm	°C	960 ₂	μS/cm	cm	°C	960 ₂
計器	ORS-59-101/102	LI-16-132	TWS-16-353A/B	ORS-51-110A	ORS-59-101/102	LI-16-132	TWS-16-353A/B	ORS-51-110A
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								

炉内電力算出
 $(4A-3) + (4B-3) + (4A-1) + (4B-1) + (WH-43-2 \times 0.1) + (\text{共用炉内ボイラー変圧器}(4号負荷分)) = \text{MW}$

炉内電力のうち共用炉内ボイラー(4号負荷分)使用分 _____ MW

項目	測定時刻	9,120	9,13,31		
炉内電力	kW				
炉外電力	kW				
炉内電圧	kV				
炉外電圧	kV				
炉内電流	A				
炉外電流	A				

記号
 CUV停止中
 フォコル停止中

全燃料取出中

本枠は炉規則第7条/保安規定第120条対象記録

福島第一原子力発電所 4号機

運転日誌別紙

2011年 3月 11日

部署	承認	内容確認	作成
原子炉主任技師室	当直長	当直副長	当直員
	2直		
	1-1直		
	1-2直		
	2直		

No. 0096 P. 2

報告予定	9,120								9,37	9,38	9,56	他Gr検用データ							
炉心の温度	冷却材入口温度	冷却材出口温度	冷却材流量		冷却材圧力		再結合装置内の温度				発電機出力								
原子炉の状態が運転及び起動において1時間ごと										原子炉主回路圧力(MPa)		原子炉温度(℃)		原子炉水位		発電機出力運転中			
項目	12	13	14	15	16	17	18	19				20	21	22	23		24	25	
時刻	●再循環系ループ温度(補2)		●原子炉温度入口除水	●主蒸気温度	●主蒸気流量	●給水流速	●給水圧力	●主蒸気圧力	●再結合装置温度				●原子炉温度	●原子炉圧力	●原子炉水位	MW	MWt	kPa(abs)	MPa
	A	B							A		B								
	℃		℃	℃	T/H	T/H	MPa	MPa	℃				℃	MPa	MPa	kWh x 10,000	MWh	kPa(abs)	MPa
計器	TR-2-150		TRS-51-1 No.13	TRS-51-1 No.1	FR-6-98		PI-52-31	PI-30-20-MSPS	TRS-24-426				TRS-2-3-89	9-31		9-7			
PID	C308	C310	D230	C311	D200	D201	C046	B012	S031	S030	S033	S032		O003	C004			PI-51-8B	PI-51-5
0																			
1																			
2																			
3																			
4																			
5																			
6																			
7																			
8																			
9																			
10																			
11																			
12																			
13																			
14																			
15																			
16																			
17																			
18																			
19																			
20																			
21																			
22																			
23																			
24																			

補1 原子炉圧力容器破砕えい(水圧)検査等で原子炉を加压する場合に採取する。
 補2 再循環系ループ温度が記録できない場合は、代替記録採取場所により記録する。
 詳細は運転日誌記載ガイドを確認すること。

※採取計器変更

停止中

2011年 4月23日 0時04分 TEPCO 福島第一原子力発電所 3号機

福島第一原子力発電所 4号機 日常点検表 (「冷温停止」・「燃料交換」用) 1/2

記録採取: (2直① 5時~6時)・(1-1直 12時~13時)・(1-2直 19時~20時)・(2直② 24時)

2011年3月11日

1. 計測及び制御設備

(1) 核計装の確認

a. 起動領域モニタの確認

- 計数率の指示が3CPS以上であることを確認する。(起動領域モニタ周りの燃料が4体未済を除く)
- 動作不能でないことを「動作不能の故障項目」①~③により確認する。

関連規定 保安規定第27条

全燃料が取り出されている場合は記入不要一括判読とする。

P N L	機器名称	設定値	機器番号	2直①	1-1直	1-2直	記入例
9-12	SRNM A	高トリプ 120%以上/下限3CPS以下 ベトリ 短延10秒以下	NIS-7-1A				異常なし「レ」 異常「X」
	SRNM B	高トリプ 120%以上/下限3CPS以下 ベトリ 短延10秒以下	NIS-7-1B				SRNM検出器取りこみ燃料が無い場合 「-」印を記入する
	SRNM C	高トリプ 120%以上/下限3CPS以下 ベトリ 短延10秒以下	NIS-7-1C				
	SRNM D	高トリプ 120%以上/下限3CPS以下 ベトリ 短延10秒以下	NIS-7-1D				
	SRNM E	高トリプ 120%以上/下限3CPS以下 ベトリ 短延10秒以下	NIS-7-1E				
	SRNM F	高トリプ 120%以上/下限3CPS以下 ベトリ 短延10秒以下	NIS-7-1F				
	SRNM G	高トリプ 120%以上/下限3CPS以下 ベトリ 短延10秒以下	NIS-7-1G				
	SRNM H	高トリプ 120%以上/下限3CPS以下 ベトリ 短延10秒以下	NIS-7-1H				

動作不能の確認項目

①当該チャンネルが設定値に達している場合、当該チャンネルがトリップしていること(誤動作していないこと)

②当該チャンネルの指示値に異常な変動がないこと

③他のチャンネルと比較して有意な差異がないこと

承認時確認事項

- 全ての枚数が揃っていること。
- 全ての枚数が片面印刷であること。
- ホチキス等で離散防止が図られていること。

	承認	作成
	当直長	当直副長 主任・副主任・主操
2直①		
1-1直		
1-3直		
2直②		

(2) 原子炉建屋換気系放射線モニタの確認

- 動作不能でないことを「動作不能の確認項目」①~③により確認する。
- (炉心変更時/停止余熱処理後の制御機1本の挿入、引き抜きを除く)又は原子炉建屋内で照射された燃料に係る作業時において動作不能でないこと

関連規定 保安規定第27条

P N L	機器名称	機器番号	設定値	1-2直	記入例
9-10	原子炉建屋換気系放射線モニタA	17-452A	0.425μS/h以上		異常なし「レ」 異常「X」
	原子炉建屋換気系放射線モニタB	17-452B	0.426μS/h以上		

2. 外部電源

- 外部電源1系列が動作可能であることを外部電源の電圧が確立していることを確認する。

関連規定 保安規定第50条

確認項目	2直②	記入例
大燃焼3号	※ 1 -	異常なし「レ」 異常「X」
大燃焼4号	レ	
3号機主変定機	✓	停止中の場合は「-」

上記の外部電源の内、1系列の電圧が確立していることを確認出来ない場合は、SPDS-電法等他の外部電源の確認を行う。確認した場合は、確認した外部電源を備考欄に記載する。

3. 所内電源系統母線受電状態確認

関連規定 保安規定第66条

- (1) 原子炉保護系母線
 - 原子炉保護系母線が受電されていることを母線受電状態表示ランプ点灯により確認する。

P N L	確認項目	2直②	記入例
9-15	RPS A系母線受電 白ランプ点灯		異常なし「レ」、異常「X」
9-17	RPS B系母線受電 白ランプ点灯		停止中の場合は「-」

- (2) 非常用交流高圧電源母線
 - 非常用交流高圧電源母線が受電されていることを電圧指示計にて確認する。

P N L	機器番号	確認項目	2直②	記入例
9-8	EF-27	非常用交流高圧電源母線4C電圧正常		異常なし「レ」、異常「X」 停止中の場合は「-」
	EF-40	非常用交流高圧電源母線4D電圧正常		

- (3) 設備維持に対する機能満足の確認

確認項目	2直②	記入例
設備維持に対する機能満足		要求機能を満足する「レ」 要求機能を満足しない「X」

- 設備維持に対する機能満足の確認とは、保安規定第27条、第35条、第39条、第40条で要求される設備の維持に必要な原子炉保護系母線、非常用交流高圧電源母線が受電されていること。
- 原子炉保護系母線、非常用交流高圧電源母線が停止中の場合において設備維持に対する機能満足を判断した場合は、その理由を備考欄に記載する。(例、M/C4C停止中 B系角等とし中につき設備維持に対する機能満足)

4. 使用済燃料プール及び使用済燃料共用プールの水温

関連規定 保安規定第54条

P N L	確認項目	機器番号	制限値	2直②	記入例
9-21	使用済燃料プールの水温 (1日の最大値)	NIS-10-131 打点9	65℃以下	記録欄 [℃]	記録欄: 最大値を記入する。 確認欄: 異常なし「レ」、異常「X」

※管理目標値 52℃以下

P N L	確認項目	機器番号	制限値	2直②	記入例
9-56	使用済燃料共用プールの水温 (24時)	TI-G11-604A-2	65℃以下	記録欄 [℃]	記録欄: 24時の最小値を記入する。 確認欄: 異常なし「レ」、異常「X」

使用済燃料共用プールの水温が65℃以下であることを9-9-56「運用補助非常用施設(使用済燃料共用プール)温度」警報が発生していないこと、で確認し、記録欄に指示の読み値(24時)を記録する。

5. 使用済燃料プール及び使用済燃料共用プールの水位

関連規定 保安規定第55条

確認項目	2直②	記入例
使用済燃料プールの水位がオーバーフロー水位付近にあること		異常なし「レ」、異常「X」

確認項目	2直②	記入例
使用済燃料共用プールの水位がオーバーフロー水位付近にあること		異常なし「レ」、異常「X」

備考

※1 PTWにて停止中のため M/C 35AはM/C 25Aより受電中
14°16' FPCホント°(B) 起動

No. 0098 P. 2/3

TEPCO監製 3.4号機

2011年4月23日 0時10分

福島第一原子力発電所 4号機 日常点検表 (「冷温停止」・「燃料交換」用) 2/2

記録採取: (2直① 5時~6時)・(1-1直 12時~13時)・(1-2直 19時~20時)・(2直② 24時)

2011年3月11日

6. 原子炉停止時冷却系の確認

(1) 原子炉の状態確認 (該当項目を○で囲む)

Table with columns: 確認項目, 2直①, 1-1直, 1-2直, 備考. Rows include 原子炉の状態 and 燃料交換.

(2)-1 原子炉停止時冷却系の状態確認 (原子炉の状態が「冷温停止」の場合)
【除外条件】 (以下の3つの条件のどれかが (OR条件) 成立時は記入不要、一括判読とする。)
・原子炉の状態が「燃料交換」の場合
・原子炉停止時冷却系起動準備時 (停止時冷却系起動前に実施する配管洗浄及びウォーミング)
・原子炉の昇温を伴う検査時 (原子炉冷却材の昇温開始から降温開始までの期間)

Table with columns: 確認項目, 2直①, 1-1直, 1-2直, 記入例. Rows include A系ポンプA, B系ポンプB, etc.

原子炉状態に対する要求機能満足 (OR条件)
・1系列が運転中であること及び原子炉で発生する放射性が原子炉停止時冷却系以外の手段で除去出来ること判断するまで
さらに1系列の原子炉停止時冷却系が動作可能であること。
・原子炉停止時冷却系が停止した場合においても、原子炉冷却材温度を100℃未満に保つことができること。

(2)-2 原子炉停止時冷却系の状態確認 (原子炉の状態が「燃料交換」の場合)

Table with columns: 確認項目, 2直①, 1-1直, 1-2直, 備考. Rows include 原子炉水位.

Table with columns: 確認項目, 2直①, 1-1直, 1-2直, 備考. Rows include A系ポンプA, B系ポンプB, etc.

原子炉状態に対する要求機能満足 (OR条件)
・1系列が運転中であること及び原子炉水位がオーバーフロー水位となるまでの期間は、さらに1系列の原子炉停止時冷却系が動作可能であること。
・原子炉停止時冷却系が停止した場合においても、原子炉冷却材温度を65℃以下に保つことができること。

7. 非常用炉心冷却系の確認

関連規定 保安規定 第40条

Table with columns: 確認項目, 2直①, 1-1直, 1-2直, 記入例. Rows include 原子炉の状態, プールゲート, 燃料の状態, 原子炉水位.

(2)-1 非常用炉心冷却系統の水源の確認
【除外条件】 (以下の2つの条件のどれかが (OR条件) 成立時は記入不要、一括判読とする。)
・原子炉内から全燃料が取出され、かつプールゲートが閉の場合
・原子炉水位がオーバーフロー付近で、かつプールゲートが閉の場合

Table with columns: 確認項目, 2直①, 1-1直, 1-2直, 記入例. Row: ECCS系水質.

(2)-2 非常用炉心冷却系統の水源の確認 (CSTが水源の場合)
【除外条件】 (以下の2つの条件のどれかが (OR条件) 成立時は記入不要、一括判読とする。)
・原子炉内から全燃料が取出され、かつプールゲートが閉の場合
・原子炉水位がオーバーフロー付近で、かつプールゲートが閉の場合

Table with columns: 確認項目, 2直①, 1-1直, 1-2直, 記入例. Row: CSTレベル.

(2)-3 非常用炉心冷却系統の水源の確認 (S/Cが水源の場合)
【除外条件】 (以下の3つの条件のどれかが (OR条件) 成立時は記入不要、一括判読とする。)
・ECCS系水質がCSTの場合
・原子炉内から全燃料が取出され、かつプールゲートが閉の場合
・原子炉水位がオーバーフロー付近で、かつプールゲートが閉の場合

Table with columns: 確認項目, 2直①, 1-1直, 1-2直, 記入例. Row: S/Cレベル.

(2)-4 非常用炉心冷却系統の状態確認
【除外条件】 (以下の2つの条件のどれかが (OR条件) 成立時は記入不要、一括判読とする。)
・原子炉内から全燃料が取出され、かつプールゲートが閉の場合
・原子炉水位がオーバーフロー付近で、かつプールゲートが「閉」の場合

Table with columns: 確認項目, 2直①, 1-1直, 1-2直, 記入例. Rows include 炉心スプレイA系注入可能, 炉心スプレイB系注入可能, etc.

※原子炉停止時冷却系起動準備及び原子炉停止時冷却系の運転中は、低圧注水系の動作不能とはみなさない。
原子炉状態に対する要求機能満足 (OR条件)
・動作可能であるべき非常用炉心冷却系、系統2系列 (自融成圧系及び高圧注水系を除く)
・動作可能であるべき非常用炉心冷却系、系統2系列 (自融成圧系及び高圧注水系を除く) 及び復水補給水1系列

No. 0098 P. 3/3

TEPCO様式-3, 4号機

2011年4月23日 0時10分